

てくてく太田川

TEKU TEKU

おおたがわ



撮影：大石佳典 ▲「こどもの日」にあわせて、こいのぼりの掲揚を行っています

毎年5月5日の「こどもの日」にあわせてこいのぼりの掲揚は、磐田市見付の新進橋上流で行われ、2023年春には133匹が空を泳ぎ、のべ50名を超える地域の人の参加がありました。子どもたちもたくさん見に来てとても賑やかだったそうです。



▲昭和9年頃の今ノ浦川

史が重なり合う見付宿を下り、仿佛川を経て遠州灘に注ぐ今ノ浦川は、時代と共に川の表情を変えてきました。治水を最優先した整備により、水生生物や植生環境が喪失してしまつた今ノ浦川の「かつての風景」を取り戻すため、ミスベリング今流美会では、様々な取り組みをしています。

▲ミスベリング今流美会の方々

磐田原台地に流域の源を発し、中世からの歴史が重なり合う見付宿を下り、仿佛川を経て遠州灘に注ぐ今ノ浦川は、時代と共に川の表情を変えてきました。治水を最優先した整備により、水生生物や植生環境が喪失してしまつた今ノ浦川の「かつての風景」を取り戻すため、ミスベリング今流美会では、様々な取り組みをしています。

特集 川を愛でる



てくてく大人の社会科見学



子どもたちが川遊びする姿を見たい



寺田公嘉

太田川水系では、河川の美化活動等を行うことを目的とする多くの団体が活動しています。今回は、その活動団体の一つである「ミスベリング今流美会」を訪ね、会の名前の由来ともなっている「今ノ浦川流域を美しくすること」に対する様々な取り組みについて取材しました。



ふじのくに地球環境史 ミュージアム 客員研究員 青島晃

今ノ浦の歴史

今ノ浦は、どのようにできたのでしょうか。



① 縄文時代後期 氷河時代が終わわり、縄文時代に入ると、気温が上がって氷が解けました。このため海面が約4mも上がり、海水が平野の奥まで進入して、浅い海が広がっていました。人々は、この海の近くで生活し、貝や魚を採っていたことが、貝塚の分布や出土する貝殻や骨から分かっています。

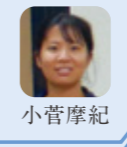
早期復旧に向けた工事の実施



袋井土木事務所河川改良課では、令和4年の台風15号、令和5年の台風2号で被害を受けた河川において、早期復旧に向けた工事を実施しています。掛川市原里の寺里橋上流右岸140mの工事に携わった施工業者によると、台風の被害が静岡県全域にもたらした影響もあり、人材・機材・資材等の確保にはかなり苦労したそうです。また、工事中には3回の大雨があり施工の手戻りが発生しましたが、令和5年7月には無事に完成することが出来ました。完成後には住民の方たちから本当に感謝されたそうです。



早期復旧に向けた工事の実施 施工業者 株式会社山田 インタビューしました！ 河川改良課 袋井土木事務所 小菅摩紀

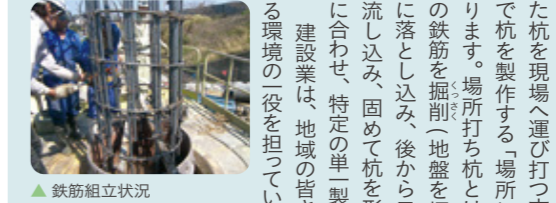


小菅摩紀

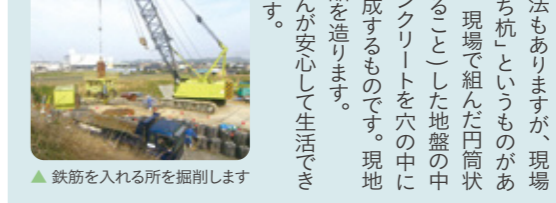
令和5年5月28日に磐田稗原グラウンドにおいて水防演習が行われた。台風などにより太田川などの河川の水位上昇を想定し、磐田市長を始め警察、中部電力、西日本電信電話(株)、磐田市建設事業協同組合、磐田市や袋井市、森町の水防団他が参加して、水防作業技術の確認と関連機関との連携を強化するため、それぞれの団体が単位となり幾つかの水防工法を実施した。ドローンを使っての橋梁巡視は、危険な場所に立ち入ることなく必要な情報を得られることから今後の活用が期待される。今回の工法は小規模な水害を想定したものであったが、遠隔で重機を操作する大型積土の工法は大規模な水害対策には効果的だと感じた。近年の雨量はかつて経験したことのない量なので対策の見直しも併せて水防演習を行う必要性を痛感した。



▲月の輪工法：土のうを積み上げている ▲大型積土の工法



▲鉄筋組立状況



▲鉄筋を入れる所を掘削します

「場所打ち杭」って知っていますか？ 川に架かっている橋ですが、決して地盤が良いところばかりに架かっているわけではありません。橋を新しく建設する際に、地盤の弱い箇所には、重さに耐えうる支持力を得るために「杭」を打つ場合があります。木材や鋼で出来た杭を現場へ運び打つ方法もありますが、現場で杭を製作する「場所打ち杭」というものがあります。場所打ち杭とは、現場で組んだ円筒状の鉄筋を掘削し、地盤を掘ることで地盤の中に落とし込み、後からコンクリートを穴の中に流し込み、固めて杭を形成するものです。現地に合わせ、特定の単一製品を造ります。建設業は、地域の皆さんが安心して生活できる環境の「役」を担っています。



令和5年度 磐田市水防演習



大石佳典



「場所打ち杭」って知っていますか？



武藤君幸

図書カードが当たる!! 2024てくてく太田川ものしりクイズ

「てくてく太田川」は創刊何周年でしょうか？ ①20周年 ②23周年 ③10周年 正解を応募いただいた方の中から図書カード3,000円分を抽選で10名の方にプレゼント！ふるってご応募ください！



編集局員を募集しています！ 編集会議では、新しい出会いや知識共有の場を提供します!! 磐田市、袋井市、掛川市、森町にお住まいの方、編集会議に参加しませんか？



ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報や、感動的な写真もあわせて募集します。太田川情報編集局事務局まで。

発行日 2024年3月1日 発行所 静岡県袋井土木事務所 〒437-0042 袋井市山名町2番1号 TEL 0538-42-3289 FAX 0538-43-0919 E-mail:fukudo-kasen@pref.shizuoka.lg.jp URL:http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/ 編集 太田川情報編集局 袋井土木事務所 河川改良課内 編集局員 磐田市 青島 晃 安岡美恵子 大石佳典 増田 晃 袋井市 浅野俊光 小菅摩紀 石代 隆 鈴木敦子 鈴木恭平 鈴木仁美 門名親宏 寺田公嘉 掛川市 安藤凱夫 鈴木健太 野中大輔 武藤君幸 森町 岡庭 彩 辻 克美



ブログ・Facebook もやっています!! てくてく太田川 検索

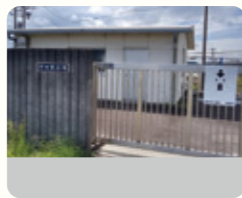
河口から18km、かつて飯田城が築かれた丘陵を南に、柿畑や水田を西に望む森町田田の太田川右岸に取水場があります。将来的に良好な水質や構造上の安定が得られることを理由に、平成20年度に設置されました。

貯水のための堰の高さは1mですが、洪水時には中の圧力を抜いて倒伏させ、水位を下げて水害を防ぐバール堰になっています。堰の幅は54m、両岸に魚道を設けて鮎の遡上にも配慮しています。

この取水場から磐田市や袋井市、森町など5つの市町に水道用水が安定的に供給されています。私達は太田川の豊かな恵みの中で生きているのです。



▲貯水堰



▲田田取水場

D 田田取水場から水道用水へ



増田 晃

河口から18km、かつて飯田城が築かれた丘陵を南に、柿畑や水田を西に望む森町田田の太田川右岸に取水場があります。将来的に良好な水質や構造上の安定が得られることを理由に、平成20年度に設置されました。

貯水のための堰の高さは1mですが、洪水時には中の圧力を抜いて倒伏させ、水位を下げて水害を防ぐバール堰になっています。堰の幅は54m、両岸に魚道を設けて鮎の遡上にも配慮しています。

この取水場から磐田市や袋井市、森町など5つの市町に水道用水が安定的に供給されています。私達は太田川の豊かな恵みの中で生きているのです。



蟹田川をめぐり、美しい花畑が広がる。春には桜や菜の花が満開になり、電車を見ながら散歩コースです。その土手から南に目をやると、新幹線が走っています。運がよければドクター・イエローに出会えるかも？

安久路川は、磐田市岩井地先の県道新屋橋付近を起点とし、西貝地区を通って今ノ浦川へ合流する川です。

磐田市西貝地区は昔、湿地帯で、舟にのって田植えをしていたそうです。次の田んぼにいく時にくぐった橋は、めがね橋といって、今は名前の記された杭だけが北側道路沿いに残っています。

川は、ジュビロスタジアムを東に見て南に流れ、ひょうたん池を西に見て電車の線路に沿って西に流れ、今ノ浦川に合流します。

ひょうたん池東側の土手や第2見付踏切から西側の土手には、春になると桜や菜の花が満開になり、電車を見ながらお花見ができる散歩コースです。その土手から南に目をやると、新幹線が走っています。運がよければドクター・イエローに出会えるかも？

太田川の下流域にある神原橋は、河川敷にかかるもぐり橋です。架設された昭和30年当時、太田川東側の広大な田んぼの耕作に、徒歩やリヤカーでの行き来が大変便利だったと推測されます。上流に新貝橋が昭和54年に架設されると、大型の農業機器も通行できるようになりました。主役を譲りゆったりとした時が流れる中、令和4年9月、台風15号の豪雨により通行止めの被害を受けました。その後通行を再開しましたが、原野谷川の岡野橋は、流失してしまいました。

昭和37年に広愛橋の代替として架設され、広岡と愛野の人々に生活道路橋としてゆったりとした時間をもちたしてくれました。

河川敷にかかる橋は不適格橋梁により消えゆく運命にあるのでしょつか。

※1 低水路部分に設置され、水位が上がると水の中に潜ってしまう橋。



▲河川敷にかかる神原橋

E 二級河川をひとつ飛び！



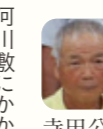
鈴木敦子

F 新幹線が見える安久路川



安間美恵子

G もぐり橋はゆったりとした原風景



寺田公嘉

身の締まった天然ウナギ

土用の丑の日といえば、ウナギです。でも、年々シラスウナギの減少で値段はうなぎ上りと高級食材になりました。が朗報です。2023年10月近畿大学でウナギの完全養殖に成功したようなので、いつしかリーズナブルな価格の蒲焼きが普通に食べられるようになる日が来るかも…待ち遠しいですね。個人的には天然ウナギ(もちろん自分で捕る)の引き締まった蒲焼きが好きです。

ウナギの8割以上が淡水遡上魚(川に上がった)がなかったという研究報告があるようで、川にいるウナギは貴重な生き物なのです。流れに選んで鍛えたウナギこそがスタミナ満点の食材ではないでしょうか。今年の夏はウナギの穴釣りに挑戦して猛暑を乗り切りましょう。



▲天然ウナギ

身もの締まった天然ウナギ



辻 克美

管内を流れる二級河川は58河川、内太田川水系は39河川。その中に、もしかしたら、ボン！とひとつ飛びで対岸に着地出来るような蟹田川をご存じでしょうか。川幅の狭い川だけ、れっきとした二級河川です。

袋井市と磐田市の市境を流れる蟹田川は、延長5.1km。そのうち上流部3kmほどは、ほぼまっすぐに狭い川幅が続きます。東名高速袋井IC西北付近を起点に市境の田園地帯を長閑に南に下り、原野谷川へと合流します。

起点近くに、「ウォーキングコース太田川さくら通り蟹田川」の看板がありました。田んぼの間を流れる川のまわりには自然がいっぱい。近くにはコスモも咲いています。天気の良い日にはのんびりと散歩はいかがでしょう。

安久路川は、磐田市岩井地先の県道新屋橋付近を起点とし、西貝地区を通って今ノ浦川へ合流する川です。

磐田市西貝地区は昔、湿地帯で、舟にのって田植えをしていたそうです。次の田んぼにいく時にくぐった橋は、めがね橋といって、今は名前の記された杭だけが北側道路沿いに残っています。

川は、ジュビロスタジアムを東に見て南に流れ、ひょうたん池を西に見て電車の線路に沿って西に流れ、今ノ浦川に合流します。

ひょうたん池東側の土手や第2見付踏切から西側の土手には、春になると桜や菜の花が満開になり、電車を見ながらお花見ができる散歩コースです。その土手から南に目をやると、新幹線が走っています。運がよければドクター・イエローに出会えるかも？

太田川の下流域にある神原橋は、河川敷にかかるもぐり橋です。架設された昭和30年当時、太田川東側の広大な田んぼの耕作に、徒歩やリヤカーでの行き来が大変便利だったと推測されます。上流に新貝橋が昭和54年に架設されると、大型の農業機器も通行できるようになりました。主役を譲りゆったりとした時が流れる中、令和4年9月、台風15号の豪雨により通行止めの被害を受けました。その後通行を再開しましたが、原野谷川の岡野橋は、流失してしまいました。

昭和37年に広愛橋の代替として架設され、広岡と愛野の人々に生活道路橋としてゆったりとした時間をもちたしてくれました。

河川敷にかかる橋は不適格橋梁により消えゆく運命にあるのでしょつか。

※1 低水路部分に設置され、水位が上がると水の中に潜ってしまう橋。

活動2 維持管理

年2回、周辺の3つの自治会から100名程が集まり草刈りを行います。最近見つかった古い文献によると、昭和の初めころから、毎月、町内別に今ノ浦川の清掃を行っていたことがわかりました。

活動3 石組み作り

3年前から、試験的にしている石組み帯工。石を積み上げ、流れを緩やかにすることで、河床が掘れるのを防ぐ効果が期待されています。そして、多様な水生生物の生息環境を創出し、子どもたちが安全に親しめる川を目指しています。

活動1 ビオトープ

20年前、磐田北小学校の児童たちの提案から、ミズベリング今流美学会が制作したビオトープ。生物が住みやすい環境を目指しました。

井戸を作った佐藤六平さんは、明治・大正・昭和の時代を通して、地域防災にとっても貢献した人だそうですね！

通称「ろっぺい井戸」という井戸があります。川に平行して、その地下水を流す細い「流れ」を造っています。

3年前から、試験的にしている石組み帯工。石を積み上げ、流れを緩やかにすることで、河床が掘れるのを防ぐ効果が期待されています。そして、多様な水生生物の生息環境を創出し、子どもたちが安全に親しめる川を目指しています。

こののぼりが掲揚されるのは新進橋付近から中川橋付近です。

太田川水系一覧

1 太田川	14 小笠沢川	27 掛川戸沢川
2 仿備川	15 法多沢川	28 神代地川
3 今ノ浦川	16 宇刈川	29 海老名川
4 古川	17 沖之川	30 西之谷川
5 倉西川	18 逆川	31 敷地川
6 磐田久保川	19 馬込沢川	32 小藪川
7 半ノ池川	20 垂木川	33 中沢川
8 安久路川	21 家代川	34 一宮川
9 旧仿備川	22 西山沢川	35 伏間川
10 祝川	23 東山沢川	36 瀬入川
11 磐田田中川	24 倉真川	37 三倉川
12 原野谷川	25 初馬川	38 葛布川
13 蟹田川	26 掛川滝ノ谷川	39 大府川

編集局員 辻 克美

磐田市立 磐田北小学校

編集局員 安間 美恵子

北野橋

今ノ浦

中川橋

六平井戸

東海道

新進橋

宇洞ヶ谷古墳跡の石碑

掛川市役所展望デッキからの眺望

参考文献「掛川のみかた話」(掛川歴史教室編集)

「掛川市宇洞ヶ谷横穴古墳発掘調査報告」(掛川市教育委員会編)

宇洞山の記憶

近くを逆川が流れる掛川市役所の展望デッキでは、山の頂で感じるような風を感じます。

ここは昔宇洞山と言われ、「宇洞ヶ谷横穴墳」と呼ばれる古墳が発掘された場所でもあるのです。この墓からは環頭大刀柄頭や変形神獸鏡などが出土されたことから、きっと首長級の人の墓だったのでしょう。またこの辺りに伝わる伝説に「山麓山の幻の皇子の墓」があります。病を患った皇子がこの地にたどり着いたのですが息絶えてしまいました。それを知った皇子の父君は大層悲しんで墓を建てたそうです。この山の風はどこへ向かっていたのでしょうか。

時の匂いを便りに、今日も脈々と風は流れています。

鈴木健太



ミズベリング今流美会の活動を取材

磐田北小学校から、東海道にかかる「中川橋」付近まで、ミズベリング今流美会の皆さんと一緒に歩いてきました。

ミズベリング今流美会 概要

- ・平成10年に会が発足
- ・会員構成：地元住民約51名、中学生2名、コンサル2名、建設業2名等
- 問合せ先 事務局 090-5605-1588 (持塚さん)

取材に行ってきました！



貴重なお話しありがとうございました。今ノ浦川を愛する気持ちが伝わりました！